

南種子町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化による気候変動は、世界的に深刻な自然災害をもたらしており、国内においても、これまでに経験したことのない猛暑や局地的な集中豪雨、大型台風などが発生し、私たちの生命や暮らしが脅かされる状況にあり、地球規模の温暖化への対応が急務となっています。

気候変動の抑制に向け、2015年に合意されたパリ協定では、「平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃未満にする」目標が国際的に広く共有されました。

更に2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書において「気温上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

我が国においても、2020年10月の内閣総理大臣の所信表明で、「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが表明されました。

以上の背景をもとに、南種子町においては、町民・事業者・行政が一体となり、2050年までに二酸化炭素の実質排出ゼロをめざす「南種子町ゼロカーボンシティ」の実現に向けて取り組んでいくことをここに宣言します。

令和4年9月16日

南種子町長 小園 裕康